

# JPIC NEWSLETTER

通巻 227 号

2021 年 11 月 12 日

## 第78回評議員会 および第127回理事会を開催

去る11月9日(火)に第78回評議員会および第127回理事会を、出版クラブビルおよびオンライン(Zoom)にて開催し、以下の議案について審議いただきました。

- 【第1号議案】  
2021年度上期事業報告並びに収支報告
- 【第2号議案】  
2021年度下期事業について
- 【第3号議案】  
今後の取り組みについて
- 【第4号議案】  
次年度子どもゆめ基金助成申請について
- 【第5号議案】  
新規理事の推薦について  
新任理事：関谷 幸一（KADOKAWA執行役員）

第3号議案については、全国の主要書店法人に経営課題のヒアリングを行った結果を踏まえて、調査・研究を行う専門委員会を今後運営いたします。

すべての議案は各会ともに、満場一致にて承認されました。

## 読書アドバイザー養成講座 第2回スクーリング開催

10月30日(土)31日(日)にJPIC読書アドバイザー養成講座の2回目のスクーリングが行われました。

30日講座内容は「電子書籍と読書の未来」として植村八潮さん(専修大学文学部教授)、「中高生の読書」のテーマで飯田一史さん(ライター)にご講義いただきました。

31日の内容は「古本屋の棚から見た読書術」を岡崎武志さん(ライター、書評家)、「『読書』ってどんなこと？」は高橋源一郎さん(作家)にご講義いただきました。

Zoomを利用したオンライン講座のなかで、講師の先生からのクイズを受講生がチャットで回答するオンラインならではの活発なやり取りが見られました。

3回目の2月5日(土)6日(日)は出版クラブビルにて開催、28期受講生が初めて顔を合わせるスクーリングとなる予定です。

## JPIC ONLINE 10月は7回のプログラムを実施

10月は子ども部4回、大人部3回、計7回のイベントを開催しました。

10月16日はおさるのジョージ誕生80年を記念して「おさるのジョージとわたし」を開催。翻訳家・福本友美子さんにジョージが生まれるまでの作者レイ夫妻のことや、翻訳の裏話をお話いただきました。



翻訳家の福本友美子さん

23日の連続講座「『この本読んで!』学びの時間」第2回では、筑波大学附属小学校の現役国語科教諭の白坂洋一さんをお招きして「生涯の友となる本と出会う～絵本から読みものへ～」をテーマにお話しいただき、子どもたちを読書好きにするために、大人ができることについて考える時間を視聴者と共有しました。

定期開催の絵本アワー「こんにちは絵本たち!」、和氣正幸さんによる連続講座「本屋ライターワキさんの本屋は楽しい、面白い!」第3回を配信。絵本や、本と出会う場所となる書店の情報をお届けしました。

大人部では2日に大谷雅夫さん(京都大学名誉教授)による連続講座「万葉集に会う」が最終回。16日より新しい連続講座「ドストエフスキー長編小説の深淵」が開講しました。亀山郁夫さん(名古屋外国語大学学長)を講師に迎えて半年に渡りドストエフスキーの五大長編小説を読み解いていきます。

さらに17日より開講する今井むつみさん(慶應義塾大学教授)による連続講座「ことばの力と考える力」では、子どもの言語力について高い関心を持つ方からのお申込みを多数いただいています。

## WATERRAS BOOKFES 2021 盛会裏に終了

10月23日（土）～11月7日（日）に千代田区神田淡路町の複合施設ワテラスとコラボした本のフェス「ワテラスブックフェス2021」を開催しました（主催：淡路エリアマネジメント、JPIC 協力：安田不動産株式会社）。3回目となる今回は新型コロナウイルス感染症の感染状況に留意しながら、ワテラスホールでの会場参加とオンライン配信との併用で実施しました。



ナカムラクニオさんによる絵画教室

今年のベストセラー新書『デジタル・ファシズム』の著者・堤未果さんと現役大学生とのディスカッションイベントや、「本の日」とのコラボイベント「ひろゆきと話そう。本のこと、自分のこと、未来のこと。」、絵本作家のとよたかずひこさんのトークイベント、アートディレクターのナカムラクニオさんによる絵画教室など、今年も幅広いジャンルの著者を招き多彩なプログラムを開催し、計10イベントで2万回を超える視聴を得ています。

一部のイベント動画は現在もワテラスブックフェスHP (<https://waterrasbookfes.com/>) にて公開中です。是非、ご視聴ください。

## スマセイおはなしひろば オンライン講座第二弾も盛況に開催

10月10日（日）「スマセイおはなしひろば（オンライン）」（主催：公益財団法人 住友生命健康財団 協力：JPIC）第二弾を開催し、生配信は1,160回視聴されました。

第一部「tupera tupera流 絵本のあそびかた」（講師：亀山達矢さん 絵本作家）では、制作秘話が語られたほか、作品にちなんだ工作ワークショップも行われました。講演の最後には、作品の登場人物にあわせた装飾を身に着けた、まさに「tupera tupera流」の読みきかせが行われました。

第二部「かみしばいの特性を引き出す紙芝居舞台の使い方」（講師：橋口 英二郎さん 童心社副編集長）では、紙芝居舞台を使う意味やその効果についてお話いただきました。視聴者からは、「紙芝

居舞台を使用する大切さがわかった」「紙芝居を演じてみようと思った」などの感想が寄せられました。



作品の展開にあわせ、装飾品を身に着ける  
亀山達矢さん

## ふれあいブックサポーター養成講座 三郷市で開催中

2013年に「日本一の読書のまち」宣言をした埼玉県三郷市。行政主導でおこなってきた読書推進を「市民の力で三郷市を日本一「本にふれあえるまち」へ」と方針を転換し、本年度、JPICとともに、市内にある「ふれあい文庫」をサポートするボランティア養成講座をスタートさせました。

7月のプレ講座、10月2日1回目の養成講座に続き、11月6日には「身近なものを使って本をよみがえらせるテクニック」と題した2回目の講座を開催。講師は日本図書館協会資料保存委員会の神原陽子さん。本に折り目が付いたときの回復法や、破れたときの修復方法などを教えていただきました。30代から70代までの参加者17名は、破れた部分を直す実技をおこないながら、講義に耳を傾けていました。



修復の実技をする参加者たち

第3回目は12月4日に開催予定。千葉県船橋市で、空き家を市民図書館として再生させる事業などに携わる（一社）地域力研究所の岡直樹さんに、ボランティアを続けるためのコツなどお話いただきます。

NEWS!についてのお問合せや詳細資料  
ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。  
JPIC HPアドレス：<https://www.jpic.or.jp>  
賛助会員様のイベント情報を発信します！